

配置図兼平面図 1:50

窓には視線配慮し木の格子をつけています。また、周囲に柱を立てておくことができます。

耐震上は意図せず、多目的トイレの設置においておられる柱が、多目的トイレを中間に置くとし、角の所に柱が立てられ、その間に女子トイレ側は、柱がなければ、空間に柱がありません。これにより、多目的トイレの柱が、残るようにしました。



ベビーカーをつけることで、視の負担をへらすことができます。

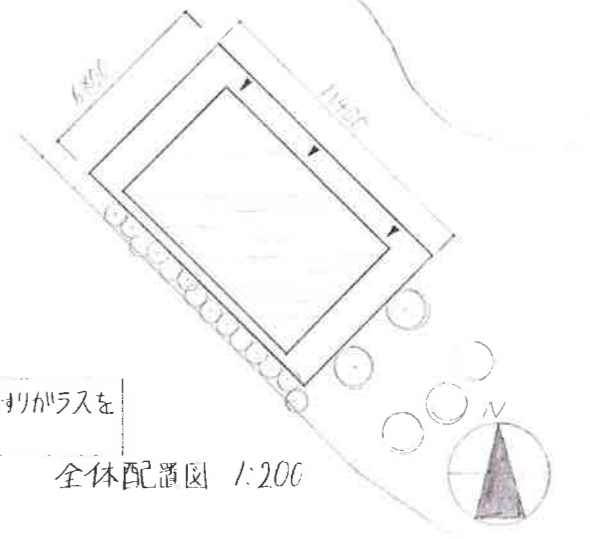


個室の窓と入り口の所には格子をつけて、男子トイレの個室でない所は格子をつけないようにしました。

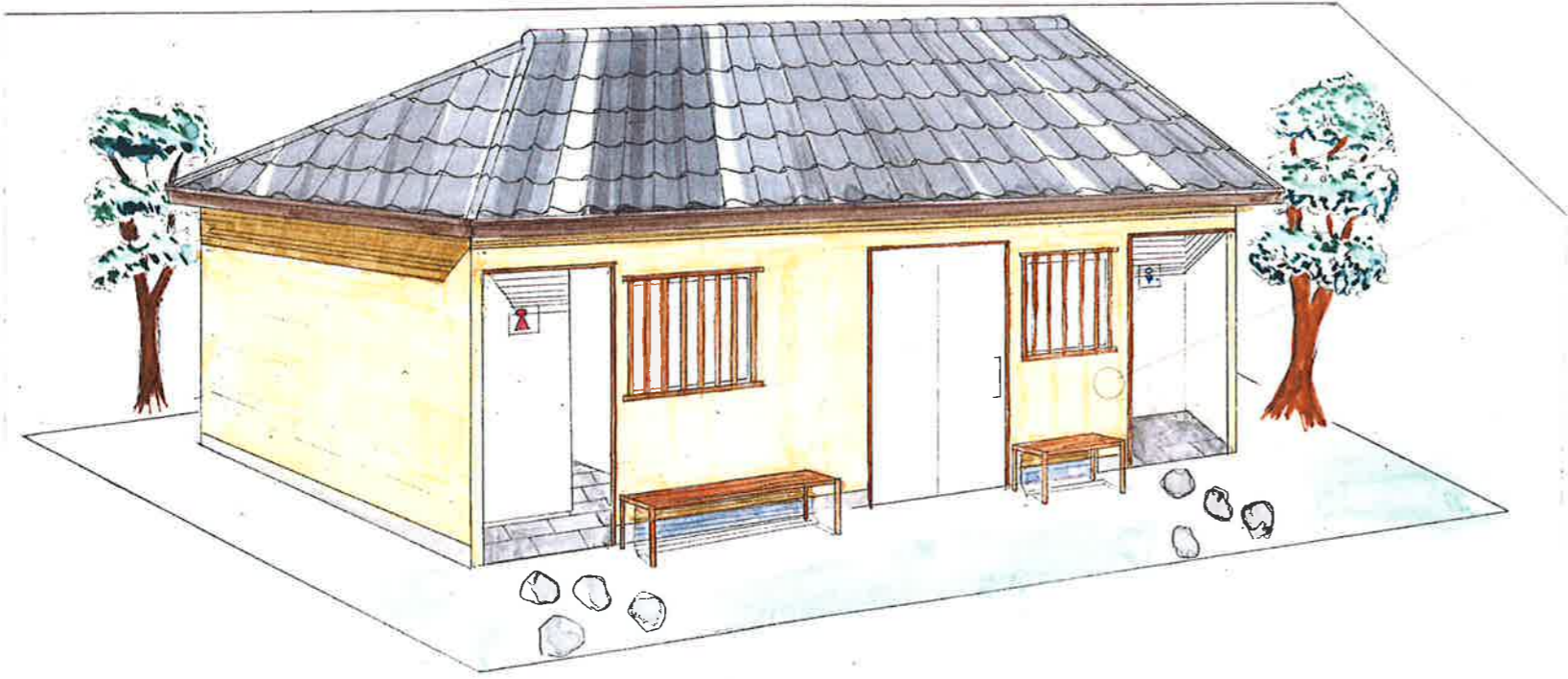


立面図 1:100

木し組みの材がラスを使用します。



全体配置図 1:200



細目の格子が多入っている仕上がりです。

面積表

敷地面積	6800 X 11400 ÷ 100	777.52㎡
建築面積	8645 X 5460 ÷ 100	47.20㎡
延べ面積	8645 X 5460 ÷ 100	47.20㎡
延べ率	47.20 ÷ 777.52	60.89%
容積率	47.20 ÷ 777.52	60.89%

トノリ

このトイレはできるだけ日の光を取り入れつつ視線は奥まで通らないようにしました。一度トイレに入ってからクラックをさせています。そして個室には全ての所に窓をつけており、個室の窓の外側には格子をつけました。そうすることで、光が入ってくるものの、格子があるのでプライバシーの保護にもなります。外壁は左官壁のウレブ仕上げにしました。日本客居の多い地域なので、景観に合うようにしました。